

宇治市健康づくり・食育推進計画(第2次)初案の修正箇所について

宇治市 健康づくり推進課

No.	修正箇所 (最終案のページ)	修正前	修正後	備考
1	P1	また新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、人と人とのつながりの希薄化やコミュニティの弱体化などがもたらされ、健康格差はさらなる拡大を見せています。	また新型コロナウイルス感染症の流行は、人と人とのつながりの希薄化やコミュニティの弱体化などをより一層進行させ、健康格差はさらなる拡大を見せています。	パブリックコメントを受けて
2	P2	国では、平成25年度より展開されてきた国民健康づくり運動「健康日本21(第二次)」について、「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」「個人の行動と健康状態の改善」「社会環境の質の向上」「ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」を盛り込んだ「健康日本21(第三次)」が令和5年5月に公表されました。	国では、平成25年(2013)度より展開されてきた国民健康づくり運動「健康日本21(第二次)」の成果と課題を踏まえて、「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」「個人の行動と健康状態の改善」「社会環境の質の向上」「ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」を盛り込んだ「健康日本21(第三次)」が令和5(2023)年5月に公表されました。	パブリックコメントを受けて
3	P5	また平成27年度には、「母子保健計画」の考え方も統合し、誕生前から高齢期まで幅広いライフステージで健康づくり・食育に取り組むものとなっています。	また平成27年度には、「母子保健計画」とも統合し、誕生前から高齢期まで幅広いライフステージで健康づくり・食育に取り組むものとなっています。	パブリックコメントを受けて
4	P5	【国の関連計画】 健康日本21(第三次) 第4次食育推進基本計画 <u>健やか親子21(第二次)</u>	【国の関連計画】 健康日本21(第三次) 第4次食育推進基本計画	パブリックコメントを受けて
5	P6	—	【計画開始時期を早めた理由を記載】 国の「健康日本21(第三次)」や京都府の「きょうと健やか21(第4次)」がいずれも令和6(2024)年4月から計画期間が開始していること、また、現行計画の策定が10年前であり、この間の新型コロナウイルス感染症による影響など、新たな課題が顕在化してきたことから、少しでも早く計画を開始するため、令和7(2025)年4月からの予定であった計画開始期間を前倒しとします。	パブリックコメントを受けて
6	P6	—	【図の修正】 基本方針に基づく国民運動に位置づけ(R5～R6)を追加	パブリックコメントを受けて
7	P7	<u>次の3つを基本方針として、健康づくり・食育に係る施策を展開します。</u>	<u>本計画の目標である「社会とのつながりの中で生きがいを持ち、健康で心豊かに活躍できるまち」を実現するため、基本方針を①健康意識の向上、②生涯を通じた健康づくり、③社会全体で健康を支えるつながりづくりの3つとし、3つの基本方針に位置づける取組を進めることで、健康寿命の延伸・健康格差の縮小の実現を目指します。加えて、その人のライフコースアプローチを踏まえた取組を進めていきます。</u>	
8	P8	—	【図の追加】 宇治市健康づくり・食育推進計画(第2次)の概念図	協議会意見を受けて

No.	修正箇所 (最終案のページ)	修正前	修正後	備考
9	P9	—	【図の修正】 食育の推進の追加	
10	P10	本計画では、健康に対する課題への対応に大きく寄与する可能性が高い取組を「重点施策」として定め、集中的に推進していきます。	本計画では、 <u>令和5(2023)年度に実施した最終評価結果(第2章に掲載)に基づき、「肥満の人の割合の減少」「がんによる死亡の減少」「高血圧の発症予防・重症化予防」「地域とのつながりが強いと思う人の増加」の4つを本市が取り組むべき健康課題として設定し、これらの課題の解決に向け、</u> 健康に対する課題への対応に大きく寄与する可能性が高い取組を「重点施策」として <u>設定し、</u> 集中的に推進していきます。	協議会意見を受けて
11	P10	【重点施策1】働き盛り世代の健康づくりの習慣化に向けたセルフマネジメントの推進 ・ <u>健康アプリ等を利用した健康インセンティブ事業の展開</u> ・地域で主体的に実践できるよう宇治市健康づくり・食育アライアンスと協働した地域に応じた健康づくりの展開	【重点施策1】働き盛り世代の健康づくりの習慣化に向けたセルフマネジメントの推進 ・ <u>インセンティブのあるウォーキングアプリの活用等楽しみながら運動できる取組の実施</u> ・地域で主体的に実践できるよう宇治市健康づくり・食育アライアンスと協働した地域に応じた健康づくりの展開 ・ <u>企業との連携により職域での健康づくりを支援 など</u>	
12	P10	【重点施策2】健康データの見える化 <u>健康を身近に感じてもらうために、地域ごとの健康データを見る化します。また、地域とともに健康課題の解決に向けた検討を行い、取組を実施します。</u>	【重点施策2】健康データの見える化 <u>医療・介護・保健等のデータを統合し分析することで、健康格差を生み出す社会環境に配慮しつつ、どのようにすれば個人が健康のために行動を変えやすくなるのかを検討し、地域ごとの健康課題を明確にします。さらに、健康を身近に感じてもらうために、地域ごとの健康データを見る化し、市民や地域と健康課題を共有することにより、市民、地域、行政が一体となり地域特性に合わせた健康づくりの推進を行っていきます。</u> <u>それにより、市民が地域の人々となつながら、自分自身の健康を守り、自分らしい生き方ができることを目指します。</u>	協議会意見を受けて
13	P11	【重点施策3】戦略的な啓発・広報強化 健康の考え方や、生活習慣病をなぜ予防しないといけないのか、がん検診受診の必要性、適塩の推進など、市民に伝わる情報発信・周知啓発を強化します。	【重点施策3】戦略的な啓発・広報強化 健康の考え方や、生活習慣病をなぜ予防しないといけないのか、がん検診受診の必要性、適塩の推進など、市民に伝わる情報発信・周知啓発を強化します。 <u>高齢者や障害のある方、子どもなどは、情報が届きにくかったり、情報を理解する能力に問題がある場合があります。そのため、情報が届きにくい人に対して、情報発信方法を工夫したり、医療従事者や地域団体などを通じて人づてに情報が伝わるような仕組みづくりを行います。</u>	協議会意見を受けて
14	P11	【重点施策4】つながりづくりによる職域も含めた「 <u>オール宇治の健康づくり運動</u> 」 自分らしく、健康で暮らせるよう様々な分野や世代で人と人、人と資源がつながり、地域住民や地域の多様な主体が参画できる仕組みづくりを構築します。	【重点施策4】つながりづくりによる職域も含めた「 <u>宇治まるごと健康づくり</u> 」 自分らしく、健康で暮らせるよう様々な分野や世代で人と人、人と資源がつながり、地域住民や地域の多様な主体が参画できる仕組みづくりを構築します。 <u>それにより、社会全体で健康を支えるつながりづくりを行います。</u>	
15	P12～P17	—	【項目の追加】 (6)ロジックモデルの活用	協議会意見を受けて

No.	修正箇所 (最終案のページ)	修正前	修正後	備考
16	P18～P20	—	【項目の追加】 (7)健康データ分析・地区診断を活用した日常生活圏域別の取組の推進	協議会意見を受けて
17	P21	—	【コラムの追加】 「榎島圏域で健康データ等を活用した取組を開始しています」	
18	P22	—	【図の修正】 (8)宇治市健康づくり・食育推進計画(第2次)の取組の方向	
19	P23～P40	—	本市の現況を直近値のデータに更新	パブリックコメントを受けて
20	P42～P45	—	【項目の追加】 ②健康と生活習慣の状況(日常生活圏域別比較)	協議会意見を受けて
21	P58	—	【項目の追加】 3. 本市の現状と課題	パブリックコメントを受けて
22	P66	—	【コラムの記載内容の追加】 (高齢者) <u>※必要な睡眠時間には個人差があり、高齢世代でも日中に忙しく過ごしている人は、成人と同等の睡眠時間が必要な場合もあります。</u> (子ども) <u>・睡眠時間の先延ばしを避ける。(本来の睡眠時間を超えて、テレビの視聴・ゲーム・SNSでの交流などの様々な余暇活動を行うことを避ける。)</u>	パブリックコメントを受けて
23	P67	※出典：令和5年健康づくりに関するアンケート	※出典：令和5年健康づくりに関するアンケート <u>(アンケートでは、1日の飲酒量が3合以上の人を多量飲酒者としています。)</u>	パブリックコメントを受けて
24	P71	—	【コラムの追加】 「電子たばこの健康への影響をご存じですか？」	パブリックコメントを受けて
25	P77	—	【コラムの追加】 「がん患者の「自分らしく生きる」を応援」	パブリックコメントを受けて
26	P80	●目標値●	●目標値●(②高血圧・③糖尿病)	パブリックコメントを受けて

No.	修正箇所 (最終案のページ)	修正前	修正後	備考
27	P85	●行政・関係団体の行動目標● ・<u>乳幼児期</u>からの健康的な生活習慣の獲得に関する知識の普及啓発	●行政・関係団体の行動目標● ・<u>胎児期</u>からの健康的な生活習慣の獲得に関する知識の普及啓発	協議会意見を受けて
28	P91	●行政・関係団体の行動目標● ・地域で身近に相談できる場の増加	●行政・関係団体の行動目標● ・地域で身近で<u>気軽に</u>相談できる場の増加(<u>健康や食の専門家等</u>)	協議会意見を受けて
29	P92	<u>加入団体数は令和6年6月で100団体となり、健康づくりや食育推進の輪が宇治市内に広がってきています。</u>	<u>親子体験型教室「うーちゃ学校」、健康や食育を考えた「うーちゃ弁当」の販売、団体同士が斬新なアイデアを出し合う「うーちゃミーティング」、団体が大集結したビッグイベント「うーちゃフェスタ」を主な活動としています。</u>	パブリックコメントを受けて
30	P102	—	【コラムの追加】 「急須でいれたお茶を飲んでいますか？」	協議会意見を受けて
31	P110	ライフステージ別の取組 <u>妊娠出産期・乳幼児期</u>	ライフステージ別の取組 <u>妊娠(胎児)期～乳幼児期</u>	協議会意見を受けて
32	P111～P117	—	第2次計画にて新たに設定した目標に★を追加	パブリックコメントを受けて
33	P111～P117	—	【目標の追加】 ・がんによる死亡割合 ・塩分摂取量が多い人(16歳以上) ・「BMI25以上の人の割合」の地域内格差の縮小(上位1位地域と市全域の差) ・「運動週2回以上未実施の人の割合」の地域内格差の縮小(上位1位地域と市全域の差) ・「歩行1日1時間未満の人の割合」の地域内格差の縮小(上位1位地域と市全域の差) ・定期的に歯科健診を受けている人(16歳以上)	